



たんぽぽ



幌別小学校ことばの教室

令和5年5月29日 No.3



ことばの教室に続く小径です。
今年も桜がきれいに咲きました。

6月になりました。

子どもたちは、新しい環境や学習内容に戸惑いながらも、自分なりのペースをつかみはじめた頃と思われます。

これまで培った力を、発揮できている子、まだうまくいかず失敗が多いなと感じている子、様々だと思います。

保護者の皆様と協力し合いながら、成長のお手伝いができますようにと思います。

幼児部通級のお父さんへ「パパも一緒にあそぼう」

いつも通ってきているママの代わりに、ことばの教室に来て下さい。またはママと一緒に来て下さい。そして、お子さんと一緒に活動（遊びや運動）をしていただきます。

- 期 間：・令和5年7月から令和6年1月までの間で、
期間中にお父さんは、1回以上は、参加して下さい。
・日程調整については、担当者にご相談ください。

お願い：・通級されているお子さんとお父さんで、ことばの教室で何をしてあそびたいかを考えてきてください。



6月の主な行事予定

- 8日（木）教育相談
- 10日（土）幌別小学校運動会
- 12日（月）幌別小学校運動会
振替休業日
（指導はお休みです）
- 14日（水）幌別小学校開校記念日
（指導はお休みです）
- 22日（木）教育相談

情報交換（小学部）ありがとうございました

小学部では5月一杯の期間に、他校通級のお子さんの授業参観と、担任の先生との懇談を行いました。普段見ることのできない学校生活のがんばりの様子を知ることができました。今回いただいた貴重な情報は、今後の指導の充実に生かしていきたいと思えます。

ご理解とご協力、誠にありがとうございました。

ことばの教室から

今年度の「たんぽぽ」では、それぞれの担当者が普段大切にしている「ことば」を、紙面を借りて皆様にご紹介していきたいと思います。「子どもを育てる」「ことばを育てる」ことに真摯に向き合う皆様への、励ましやエールになればうれしいです。

下のことばは今から30年以上前、わたし（泉野）がこの職についたとき、先輩の先生が「とてもいいことばだよ」といって教えてくれたものです。強く感銘を受け、以来ずっとこのことばを追いかけて子どもたちと向き合おうとしてきました。が、なかなかこの通りにはいかず、反省の毎日です。心にきざんでおかなければという自分自身への思いをこめまして、皆様にご紹介いたします。

子どもの言うことをよーく聞くんです。いまその子が言っていることも、今まさに言わんとしていることも、まだぜんぜん言えていないことも。その子はあなたに言いたいことがあるんです。その子にとっては意味のあることなんです。その子には大事なことなんです。ただのおしゃべり遊びだと思ってはいけません。

話し手としてのその子を尊重することです。なにもかもすっかり、よく聞いてあげてください。自分の言うことが聞いてもらえると感ずることや、ほかの人が自分の言ってることに興味をもってくれていると感ずることは、成長しつつある人としてのその子にとっては、実に、すばらしいことなんです。子どもはその子なりに、ベストをつくしているんだと思うことです。子どもにとっては、あなたに話をしたいということのほうが、正しくしゃべられるかよりも、ずっと重要なことなんだと思うことです。

【教室の言語障害児】W. ジョンソン D. ミラー共著 田口恒夫 訳 日本文化科学社（巻頭言から抜粋）

まだわが国に「ことばの教室」がなかった時代、日本の田口恒夫という学者が、当事言語障害児教育について先進的であったアイオワ大学に留学しました。その際師事したウエンデル・ジョンソン教授の、講義中に話された上のことばに深く感銘を受け、氏の技術とともにその考え方を日本に伝えたのだそうです。

まだぜんぜん言えてないことを聞く…50年前のことばとはいえ、子どもがお話をする事、お話を聞くことの大切さを、あらためて考えさせてくれることばですね（泉野）

